

インフラに頼らない“フィールドづくり・まちづくり”

オフグリッドハブ™

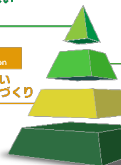
社会課題を解決するオフグリッドフィールド

目的 Company purpose
インフラに頼らない
社会をつくる

ミッション Mission
インフラに頼らない
フィールド・まちづくり

ビジョン Vision
いつでも、どこでもかわらない
生活おくれる社会の実現

強み Values
可動型オフグリッドソリューション



企業連携によるオフグリッドメニュー <オフグリッドゼネコン>

自立電源
(再エネ)



ELECTRICITY

空気から
水の生成



H2O

トイレ水
の再利用



RECYCLED

廃棄物と熱
の再利用



ENERGY

搭載



移動前提のトレーラーハウス

オフグリッドハブ小田原イメージ

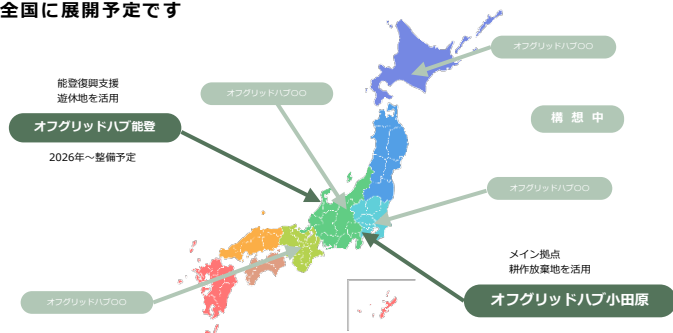
小田原市早川のみかん畑地

2026年春にオープン〜2027年 フルオープン



オフグリッドハブ = オフグリッド型トレーラーハウスの実証実験・体験・PRの場、レンタル車両基地

オフグリッドハブは、全国に展開予定です



Produced by



TAKENAKA



建設会社とトレーラーハウスビルダーによる
“まちづくりモビリティカンパニー”

OGF
OFF-GRID FIELD



ホームページ
<https://offgrid.jp/>

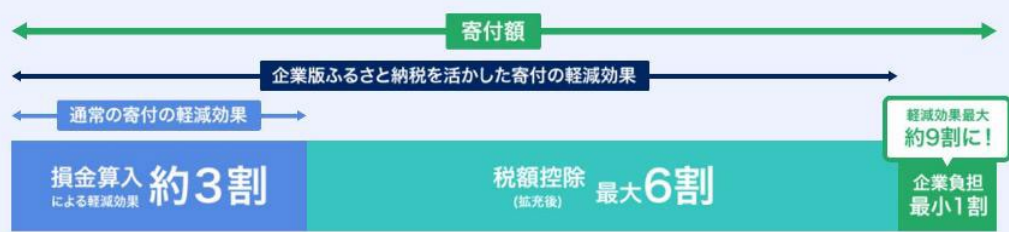
収益性と社会貢献を両立する持続可能なオフグリッドハブのビジネスモデル



- フィールドは、遊休地や既存公園等を活用（イニシャルコストを大幅低減）
- 企業や学校、大学等のフィールド研修・防災合宿等による宿泊型トレーラーハウスによる収益
- 災害時の復旧拠点・避難所活用

企業版ふるさと納税（物納）とは？

寄贈額の9割が税制優遇（実質負担1割）。2022年に物納制度もスタート
自治体からは防災用品、教育、食品などに高いニーズ。自治体との個別交渉OK



(例) 1,000万円の寄附を行うと、法人関係税において最大900万円の税が軽減(実質負担は100万円で1割)